

# WEEKLY

# 一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary  
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858

## ロータリーのマジック

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)



### 2025年2月27日 第3626回例会



会 長 佐々木久直 会長エレクト 山上 哲 司  
副 会 長 森 克彦 副 幹 事 大 鹿 晃 裕  
幹 事 鶴 飼 雅 弘 会 報 委 員 長 浅 野 一

### 第3625回例会の記録 2025年2月20日(木)

#### プログラム

木村 公一氏(自称ツアーアマ)  
テーマ「ゴルフバカ日誌」主人公は俺だ!  
下道と車中泊で全国ゴルフ場完全制覇挑戦中!  
ただいま1116

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

#### 3月度のプログラム

8日 6日を例会変更 西尾張分区IM  
13日 卓話 名古屋芸術大学RAC  
20日 休会 春分の日  
27日 例会変更 防災かまどベンチ除幕式  
オリナス一宮

#### 会員誕生日おめでとう

判治忠明君(3月 3日) 加藤恭平君(3月 4日)  
吉山佐人規君(3月12日) 西川隆造君(3月12日)  
墨 大 輔君(3月15日) 坂野公治君(3月18日)  
佐藤博之君(3月19日) 佐々木久直君(3月23日)  
渡 邊 肇君(3月25日)

#### 会員夫人誕生日おめでとう

長谷川勝久君夫人 響 子様(3月 9日)  
判治忠明君夫人 る み様(3月13日)  
近藤尚文君夫人 勢津子様(3月14日)  
土川保夫君夫人 美智子様(3月18日)  
森 俊 夫君夫人 理 栄様(3月28日)  
青木俊憲君夫人 浩 子様(3月30日)  
村川文穂君夫人 聖 子様(3月31日)

#### 結婚記念日おめでとう

長尾昌浩君(3月 8日) 滝 善藏君(3月 9日)  
鎌田芳彰君(3月10日) 安藤和人君(3月13日)  
豊島晋一君(3月14日) 山口雄史君(3月20日)  
山口元彦君(3月21日) 清水敬介君(3月21日)  
森 克彦君(3月22日) 西川隆造君(3月23日)  
安藤滋朗君(3月23日)

#### 次回の予定

8日 6日を例会変更 西尾張分区IM  
ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋  
13日 卓話 名古屋芸術大学RAC

#### 会長挨拶

佐々木久直

今日も寒波の影響でお寒い中、例会にご出席いただき誠にありがとうございます。

本日は大変楽しみにしていました、市川 真中日新聞一宮総局長に「紀伊半島 滝めぐり」をテーマに卓話をいただきます。宜しく申し上げます。また、一宮北ロータリークラブから伊藤会長がメイクアップにお見えになりました。ようこそ一宮RCの例会へ。

2月4日(火)名古屋観光ホテルにて開催された名古屋ロータリークラブの「創立百周年記念式典」に鶴飼幹事と参加した報告をさせていただきます。

名古屋RCは1924年12月に東京RCをスポンサーとして発足し、1925年2月に日本で3番目のRCとして承認されました。内藤弘康会長はじめ現在の会員数は178名。記念式典への出席者は、スポンサークラブの東京RCから亀谷太郎会長と幹事、吉川公章ガバナーと歴代のバスターガバナー、大村秀章愛知県知事、広沢一郎名古屋市長など錚々たるご来賓の方々でした。そして、名古屋RCがスポンサークラブの岐阜RC、四日市RCなど子クラブなど34ものロータリークラブが参加して、会員含め253名もの参加者でした。

まず式典の前に「第3701回の例会」が開かれ、幹事報告、バースデーソング、ニコボックス報告など通常の例会が行われました。RCにおける例会の重要性を再認識しました。

例会終了後に記念式典が開催され、ロータリーソング「奉仕の理想」に続き、オリジナルソングの「輝け名古屋ロータリー」(作詞:成田和昭、作曲:栗田信生)を唱和しました。内藤会長挨拶の後に、大村秀章愛知県知事の祝辞。広沢名古屋市長へ周年記念事業「名城公園に桜の植樹と石垣の寄贈」を贈与の後、広沢名古屋市長の祝辞。その後第82代岡田邦彦会長の記念講演がありました。吉川ガバナーにロータリー日本財団、米山記念奨学会へ各50万円の贈呈後に、90代会長へ99代会長まで歴代会長への表彰式で式典は終了しました。

15分の休憩後、祝宴の部のオープニングは、名古屋RC会員の日本舞踏西川流の西川千雅家元の祝舞が披露され始めました。小笠原剛実行委員長の挨拶に続き、東京RC亀谷会長の乾杯で祝宴に入りました。祝宴中は出席者の皆さんの会話を邪魔しない音量にて、バイオリン主体のアンサンブル楽曲が演奏されていました。例会から祝宴まで「会員間の交流」という親睦に重きを置く、名古屋RCの記念行事の運営に感服いたしました。



## 委員会報告

### ニコボックス

佐藤博之

☆ 伊藤核太郎君(一宮北RC)

クラブ会長を拝命して以来、一宮RCさんにもビジター参加したいと思っておりましたが、やっと念願叶いました。本日はよろしくお願ひいたします。

☆ 土川保夫君

本日フォーラム21少年少女合唱団定期演奏会の案内を一宮北クラブ会長伊藤核太郎さんにしていただき喜びで。私はフォーラム21少年少女合唱団顧問です。

☆ 青木俊憲君

本日は、中日新聞社一宮総局長市川 真様をお招きし、ご趣味でもある滝にまつわるお話とともに、赴任されて1年を過ぎた一宮の印象などもお話しいただけると幸いです。

☆ 豊島晋一君

新年家族例会にて、お米券が当選した喜びで。家族で大切にに使わせていただきます。

☆ 佐々木久直君 鶴飼雅弘君

本日は中日新聞一宮総局長の市川 真様より卓話を頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。ビジターとして一宮北ロータリークラブ会長の伊藤 核太郎様にお越し頂きました。米山奨学生の李昱さんが一時帰国の中国から戻って例会に出席して頂いた喜びで。

## 出席報告

ビジター出席数	1名
現在の会員数	111名
本日の出席数	72名
前々回の出席率	100%

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

市川 真氏

(中日新聞一宮総局長)

テーマ「紀伊半島 滝めぐり」



紀伊半島の滝と言えば、どれを思い浮かべますか。多くの人は、有名観光地でもある和歌山県那智勝浦町の「那智の滝」と答えるでしょうが、実は紀伊半島には無数の滝があります。中には那智の滝の高さを超えるような巨瀑も。でも、そのほとんどは道のない山奥にあるため、一般の人の目に触れる機会はほとんどありません。私はこの10年ほど、山奥にある「名もなき滝」を巡る旅を続けてきました。今回は、なかなか見ることができない「秘瀑」の世界をご紹介します。

私が滝の魅力に取りつかれたのは2016年のことでした。学生時代に始めた山登り。就職後約〇年のブランクを経て30代前半で再開し、四季を問わずいろいろな山を登ってきました。この年、ひよんなことから沢伝いに歩いたり泳いだりして上を目指す「沢登り」という種類の山登りの世界に足を踏み入れました。

紀伊半島で最初に行ったのは、三重県松阪市にある唐谷川という沢でした。直径10メートルを超す釜(滝つぼ)を泳いで渡ったり、高低差50メートルぐらいの大滝で水しぶきを浴びたりしました。真夏だったので、童

心に帰って水遊びをしているような楽しさでした。

大きな滝に出くわすと、まさに「息をのむ」という感覚です。大量の水が水しぶきを上げて滝つぼにたたきつけられ、水が落ちることで発生する風と地響きのような震動が五感を揺さぶります。それらの滝の多くは地図(地形図)に載っておらず、たまに沢を上がっていく物好きか、杣人しか知らない滝ばかりです。

観光地にある滝は通常、危険を避けるために柵で滝つぼに近づけないようになっていますが、自然の中では滝つぼに入るのも自由。水に打たれるのも自由。何をやってもいいんです。ごみを捨てたりして自然を汚さなければ。

迫力のある滝を見たいなら梅雨時がおすすめ。水量が多いと、水が滝つぼにたたきつけられる轟音と水しぶきの量が半端なく素晴らしい。しかしその分危険もあります。滝の手前には急激に川幅が狭まったゴルジュと呼ばれる岩場の多く、上流で大雨が降ると急に〇メートルも水位が上がることも珍しくありません。ゴルジュには、はるか上方に丸太が突っ張り棒のように引っ掛かっていることがありますが、それは水位が上がった証拠です。

もちろん大きいだけが滝の魅力ではありません。水流がねじれて落ちている滝は竜が天に昇っていくように見えます。傾斜は緩くても、真緑のコケがびっしりついた岩の間をゆったり流れる滝も美しいものです。

もうひとつの見どころは、水流が長い時間をかけて削った奇岩です。滑り台のようにツルツルした斜瀑や、トンネルのように完全に岩をくり抜いてしまったような滝もあります。この岩ができるまでに何百年、何千年かかったのか分からないくらいです。

滝を巡ると、そこに生息する動植物と自然に触れ合うこととなります。最も会いたくない動物と言えばクマですね。紀伊半島のクマは100~200頭ぐらいしかいないようですが、私は2回も鉢合わせしてしまいました。偶然、クマの方が逃げて行って来て、事なきを得ましたが。

他にも致死率が高い病気を媒介するマダニもいますし、病原菌の害はないといわれるものの、とっても気持ち悪いヒルもたくさんいます。蒸し暑い日など、10匹近く足に付着していることがあります。直径3メートルを超すような巨木もありますし、初夏にはエゾハルゼミの大群が大合唱を聞かせてくれます。私が通っている紀伊半島南東部の山を歩く人が極端に少ないので、こんな自然が今も残されているのです。

基本的な疑問を持つ方もいるでしょう。なぜ紀伊半島には滝が多いのか、と。それは、山が深く、雨が多いことに尽きます。年間降水量は3000ミリ。全国平均の2倍ぐらいあります。でも近年の極端な集中豪雨の発生で山崩れが各所で起き、美しい自然が壊れてしまっています。集中豪雨は地球温暖化が一因といわれているので、美しい自然を後世に残すためにも温暖化対策を進めていく必要があります。



三重県松阪市  
野江股谷の無名滝

三重県大台町  
大熊谷の無名滝